



国府小だより

第20号
令和3年11月30日(火)

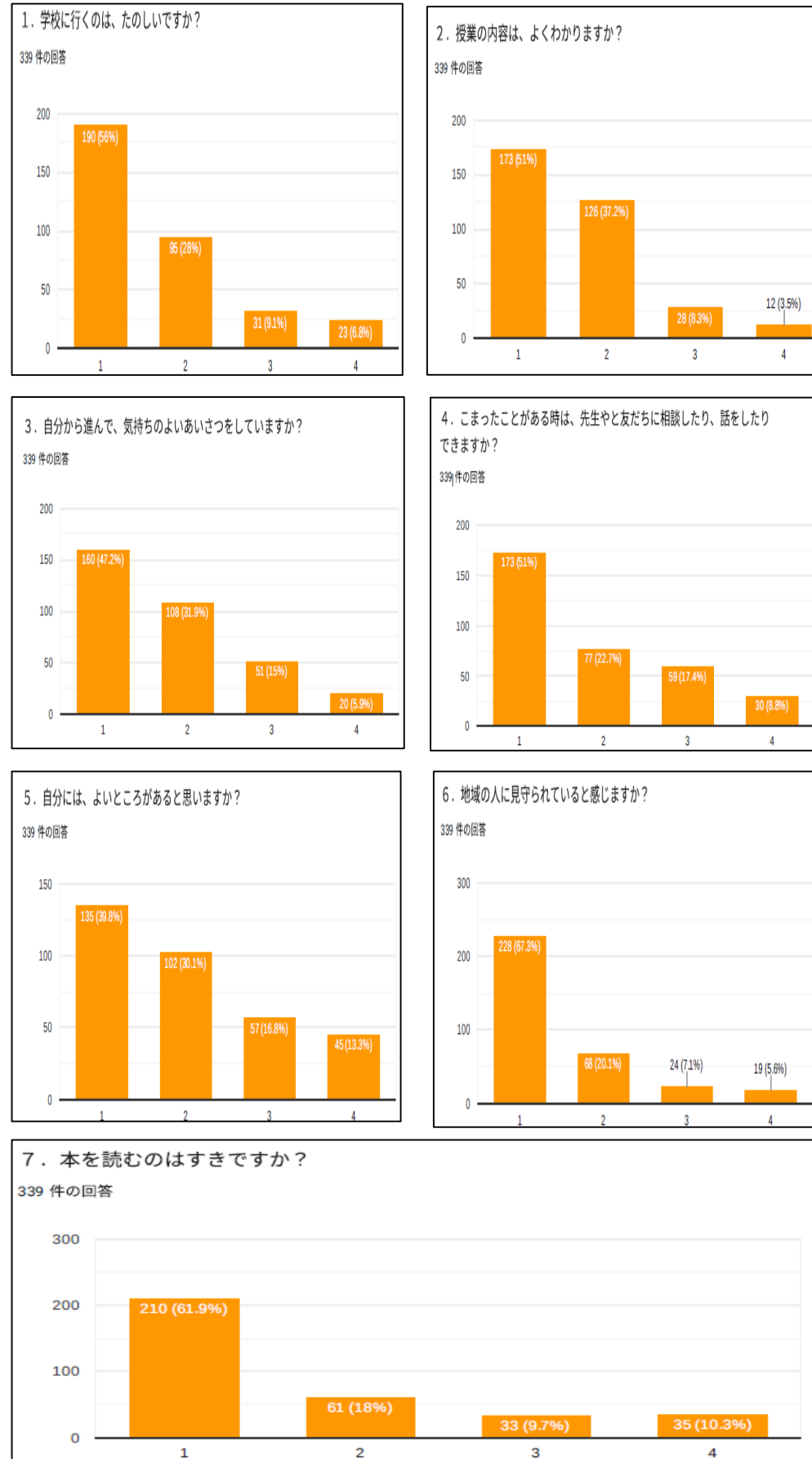


学校アンケートの結果について

皆さんにご協力いただきました「学校アンケート」「地域アンケート」児童への「学校アンケート」の集計と分析についてお知らせします。

【児童アンケートより】

1 ◎ 2 ○ 3 △ 4 ×



子ども達のアンケートの結果から、「1. 学校に行くのは楽しいですか」の質問に、84%（昨年 82.5%）の児童が肯定的な回答（◎と○の合計）をしています。「2. 授業の内容はよくわかりますか」には88.2%（昨年約 88.0%）の児童が肯定的な回答をしており、コロナ禍の中で、子ども達がんばって学習している成果だと思っています。また、「6. 地域の人に見守られていると感じますか」に『はい◎』と感じている児童が67.3%（昨年 66.1%）と、どの設問より高い割合でした。これはボランティアをはじめ、地域とともに育む学校と

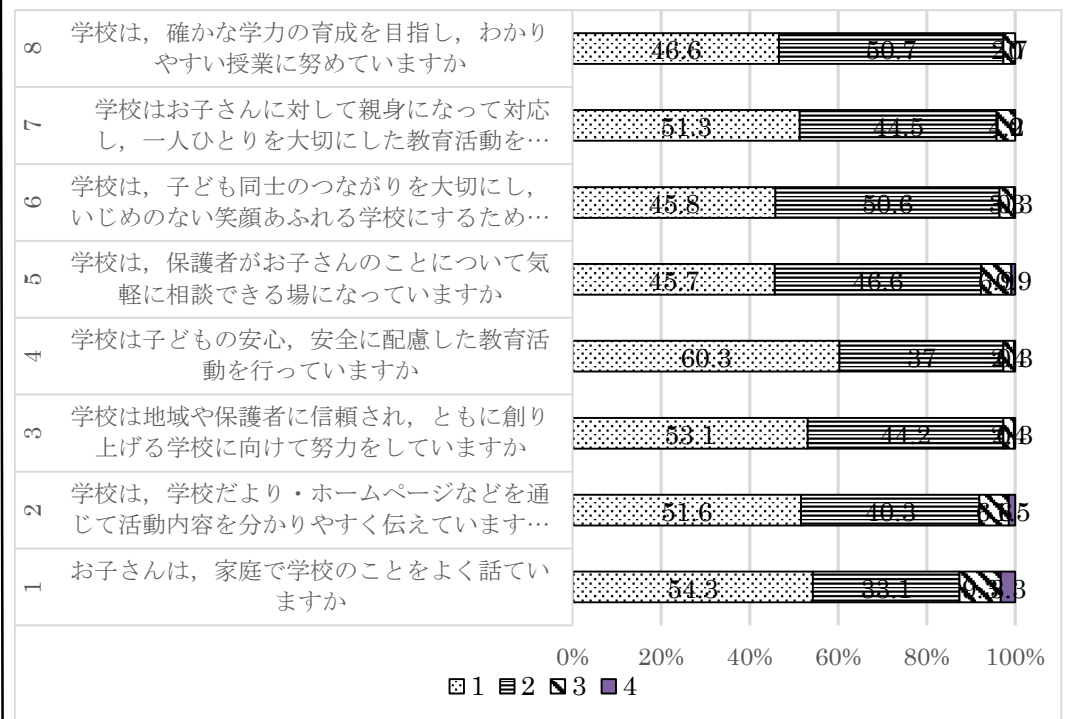
して多方面にわたりご協力や支援をいただいているからの結果です。そして伝えたい事を記述するところには、たくさんの児童が「いつも見守ってくれてありがとうございます。」と地域の方への感謝の言葉を書いていました。

課題としては、「4. 困ったことがある時は、先生や友達に相談したり、話をしたりできますか」の設問に26.2%の子が「そう思わない、どちらかといえばそう思わない」と回答しています。担任との信頼関係、クラス作りの視点から見直し検討する必要があると考えます。また、「5. 自分にはよいところがあると思いますか」の質問は毎年課題があり、今回の結果も約3割余りの児童が否定的な回答をしています。その傾向は高学年になるほど顕著にみられ気になります。子どもたちが自己肯定感を高められるような学級経営や取組、自分らしくいることに自信をもてるような学びを重ねていく必要があります。

また、「3. 自分から進んであいさつをしていますか」という項目で約3割近くの児童が否定的な回答をしています。地域の方のアンケート結果にも共通するところがあり、あいさつの大切さを引き続き指導していくと同時にあいさつをする意味についても学習していく必要があります。

そして、「1. 学校に行くのは楽しいですか」に16%「2. 授業の内容は、よくわかりますか」に11.8%の児童がそう思っていないことを受け止め、一人でも多くの児童にとって安心でき、わかる楽しさを感じられるよう今後も授業改善に取組み、子ども達への指導を行っていきたいと思います。気になる点がございましたら、いつでもご相談ください。

【保護者アンケートより】



保護者アンケートの結果	1 ◎	2 ○	3 △	4 ×
確かな学力の育成に努めている	46.6	51	2.7	0
一人ひとりを大切にされた教育活動をしている	51.3	45	4.2	0
いじめのない学校づくりに努めている	45.8	51	3.3	0.3
子どもについて気軽に学校へ相談できる	45.7	47	6.9	0.9
子どもの安全確保に配慮している	60.3	37	2.4	0.3
地域や保護者の人々との連携に努力している	53.1	44	2.4	0.3
学校だより、ホームページ等の情報提供	51.6	40	6.6	1.5
学校の話をしている	54.3	33	9.3	3.3

「確かな学力の育成をめざし、わかりやすい授業に努めていますか」「子どもの安全を配慮して教育活動を行っていますか」「地域や保護者に信頼され、ともに創りあげる学校に向けて努力していますか」の3つの質問に、95%以上の肯定的回答をいただきました。また、ほとんどの項目で90%以上の肯定的回答をいただき、日々の教育活動に対して信頼をいただいていることをうれしく思います。ただコロナ禍で学校に来ていただく機会が減っている中でのアンケートでしたので、よくわからないというご意見も多数いただいています。一日も早く以前のように行事等実施できること学校としても願っております。また、「子どもの安心、安全に配慮した教育活動を行っていますか」の項目に97.3%の肯定的な回答をいただき、感染症対策に関しても評価いただいたと安堵しています。

コメント欄にはいくつかのご意見をいただきました。代表的なご意見とそれに対する回答を紹介します。

Q. 学校だよりでの子どもたちの活動の紹介を毎回楽しみにしています。写真が白黒で小さいので顔や様子がわかりづらいのが残念です。いろいろな都合があるかもしれませんが、もう少し写真を大きくしていただくか、ホームページ掲載の写真の数が増えるといいなあと思います。

A. 学校だよりをカラー印刷で配布できるとよいのですが、予算的に難しいところです。学校だよりもホームページに載せていますので、そちらで見ていただくと、カラーでご覧いただけます。また、活動の様子もできるだけリアルタイムでホームページにて紹介していきます。

Q. ①地元ではないため、国府の学区がどこまでかわかりません。「子どもに校区外に行っはいけない」と教えたいが、どこまでなのか自分自身わからず、教えられない。また、校区などがわかる地図はありますか。メールで〇区など記載されているが、場所がわからず、…注意出来ない事もあります。機会あれば教えてください。②以前からお願いしていますが、国府小校区マップが欲しいです。各地区の場所範囲がわかる地図、があると地元の人以外でもわかるのでありがたい

A. 校区がわかる校区地図(各地区の区切りは難しいですが、地区名も載せました。)を先日のPTA役員会にて、各地区の地区長さんにお渡しさせていただきました。また学校の方に連絡いただいてもお渡しします。ホームページにも基本情報として載せていきます。

Q. 地区ごとの困りごとなどは、PTA(地区委員)と地区児童会でもっとしっかり共有して一緒に改善できるようになればと思う。登校時間や、通学路(バス道路の危険性)など毎年解決できなく1年が終わってしまう。

A. 地区によっても実態が異なり、難しい部分もありますが、PTAと相談しながら検討していきます。道路事情等は学校だけでは解決できないところも多く、自治会とも連携した取組を進めます。

Q. クラスや学年により下校時間が異なることに不安を覚えます。始業時間を守るのなら、下校時間も守っていただきたい。「学年別下校」「地区別下校」の意味を今一度学校でご確認してほしい。

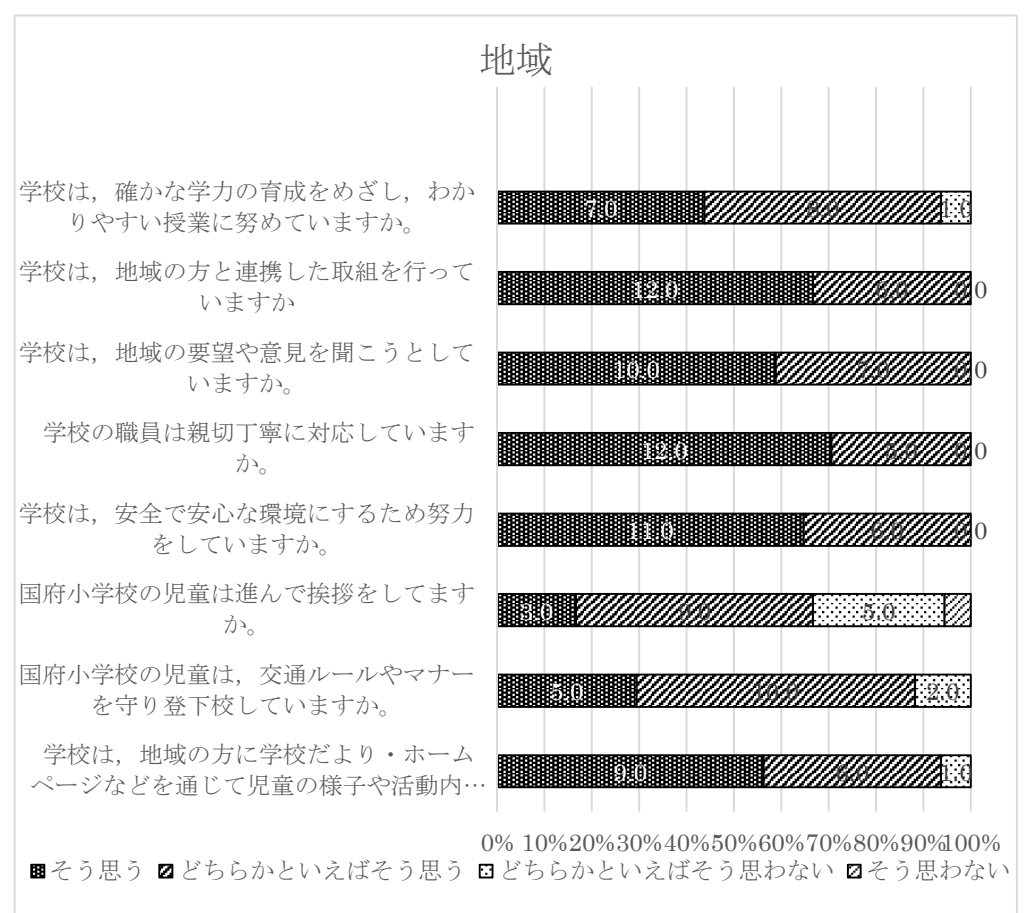
A. 子どもたちの安全を確保するためにも、学年での下校時間は気をつけていきます。

この他にも、いろいろなご意見・ご感想をいただきました。いただいたご意見は全職員で共有し、今後に活かしていきたいと思えます。

また、コメントの中に、「毎日楽しく登校している」「日頃から子ども同士の様子をよく見ていただいている」「常に細やかな対応をいただいで安心して」「通常の激務に加え、コロナ禍の異例の中、毎日楽しく学校生活を送れているのも先生方をはじめ、地域の方のおかげだと感謝の気持ちでいっぱい。」などの声もいただき、励みになりました。子どもの力を伸ばし、健やかに育てていくには、学校と家庭の連携が欠かせません。気になることがございましたら、お気軽に学校へご連絡・ご相談いただければと思います。

【地域アンケートより】

学校や子ども達のことをよく知っていただいている、学校運営協議会委員さん、ボランティアの皆さんにご意見をいただきました。



地域の皆さんからは概ね肯定的な回答をいただきました。しかし、今年度もあいさつについて課題があると回答されました。あいさつはコミュニケーションの基本です。人とつながる大切な言葉ととらえています。学校生活においても、各学年に応じて大切に指導をしています。また、職員のあいさつについても、子どもたちの見本として示しているかというご指摘もいただきました。職員一同気持ちの良い挨拶を心掛けてまいります。そしてもう一つ、登下校の様子にも課題が見えています。安全に登下校するため、歩き方や並び方について引続き折に触れ指導していきます。

ほかに、こんな声もいただきました。

ボランティアをして気が付いたことは、自分のお話を聞いてほしい、注目してほしいという子どもさんがたくさんいるんだなあということでした。話を聞くとすっきりしたような表情になります。大人も忙しい世の中ですので子どもはなかなか話せる機会がないのかなあと感じます。カウンセラーとは違う、子どもの話を気軽に聞いてあげられる人がいると、子どもの心が安定するよう感じたりします。

